

令和
4年

春季企画展

企画展

2022
4/16
SAT

6/12
SUN

開
報

心を描く縄文人
—人面・土偶装飾付土器の世界—



この春に開催した企画展「心を描く縄文人—人面・土偶装飾付土器の世界—」では、山梨県内の遺跡から見つかった縄文時代の「顔」にスポットを当て、ズラリと並ぶ圧巻の「縄文顔」をお楽しみいただきました。

そもそも土器の文様には大きく分けて「装飾性文様」と「物語性文様」の2つがあり、前者が土器の美的効果を目的として付けられたのに対して、後者は象徴的な意味などを表すために描かれたといわれています。

メイン展示であった「人面・土偶装飾付土器」は、この内「物語性文様」に属し、縄文人たちの「伝えたいこと」が描かれている土器として、煮炊きを担う以外の儀礼的な行為において役立てられたと考えられます。ひとつひとつの顔面表現にどのような思いが込められていたのかを想像できるのも、本展の醍醐味であったのではないのでしょうか。

今回、規模の小さい無料の企画展にもかかわらず、会期中におよそ4800名ものみなさんにご来館いただけたのは、顔面表現に対する関心の高さと同時に、来館された方がSNSで積極的に発信してくださったことも一因であったように思います。多彩な表現を見られる「顔」というモチーフとSNSとの親和性をあらためて実感し、今後の展覧会を考えていく上での貴重な機会となりました。

エントランスホールに巨大な土器展開図登場！



ハッシュタグ
#私の好きな縄文顔
当館 Twitter でも発信

しました♪



重原遺跡の人体文を
大胆に展開！
人体文ポーズで
記念撮影しませんか？